人感センサの種類と仕組み

人感センサの種類

WAGOが扱っているセンサは大きく分けると３種類に分けれることができます。

① DALIマルチセンサタイプ（有線）
② EnOcean・無線センサタイプ
③ Modbus通信センサタイプ（有線）

１.DALIマルチセンサタイプ

DALIの規格に準拠したセンサタイプです。
※規格に対応した複数のセンサタイプがありますが、現在はスタンダートタイプのマルチセンサが主流です。（DALI２認証）

２.EnOcean・無線センサタイプ

EnOceanの規格に準拠したセンサタイプです。

３.Modbus通信センサタイプ

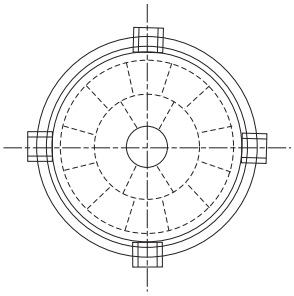
Modbusの通信規格を（RS-485）利用したセンサタイプ ですが、各メーカーごとに人感検知基準、
処理速度などが異なります。

人感センサの選定

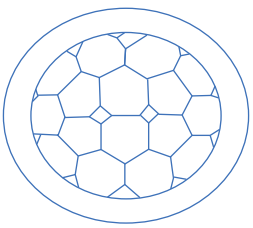
人感センサは目的および用途に応じて選定することを推奨します。

例えば
- 通路、入口、エリア侵入などの人の動きが大きい場合
- 事務所内、会議室、トイレなど人の動きが小さい場合
- 配線工事が困難な場合
- 電波の状況が悪い場合

**WAGOが主に扱っているのは正円検知ではなく楕円検知となり、
ドットで検知をする仕組みになっています。**



正円検知タイプ

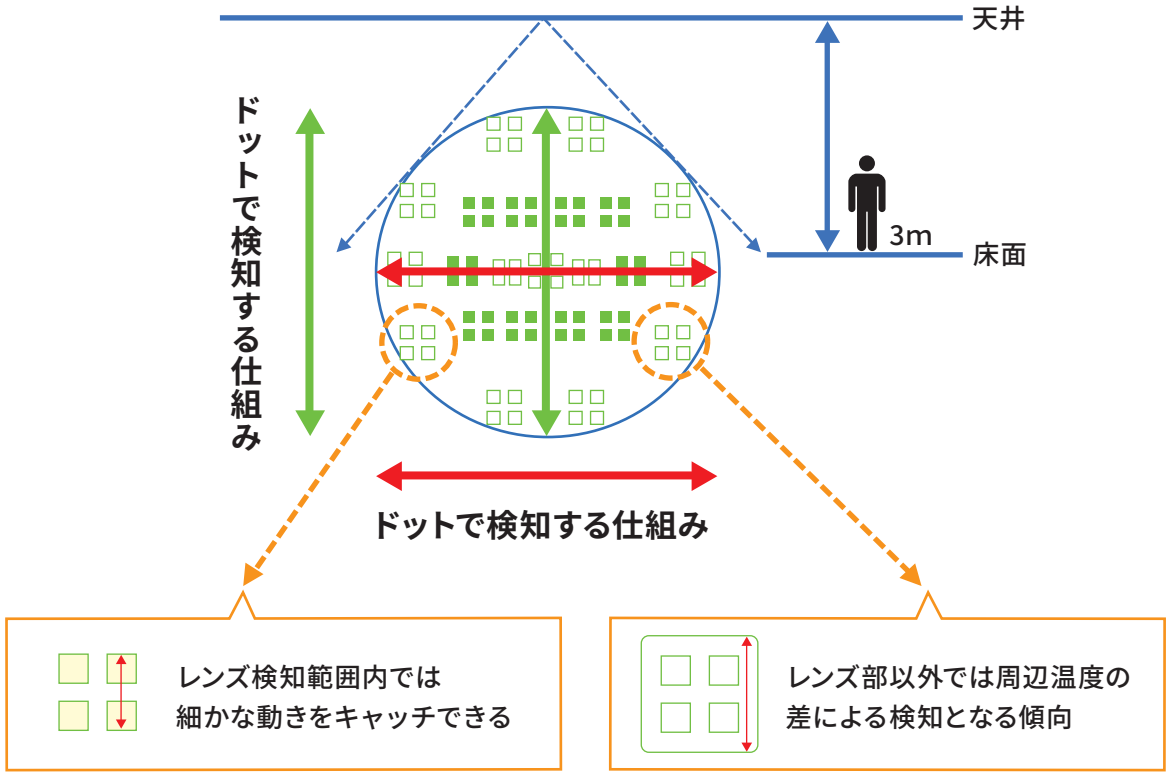


楕円検知タイプ
（WAGOが主に扱っているタイプ）

※その他の画像センサタイプ等に関しては、各メーカーに必ず仕様確認および事前動作確認をすることを推奨します。

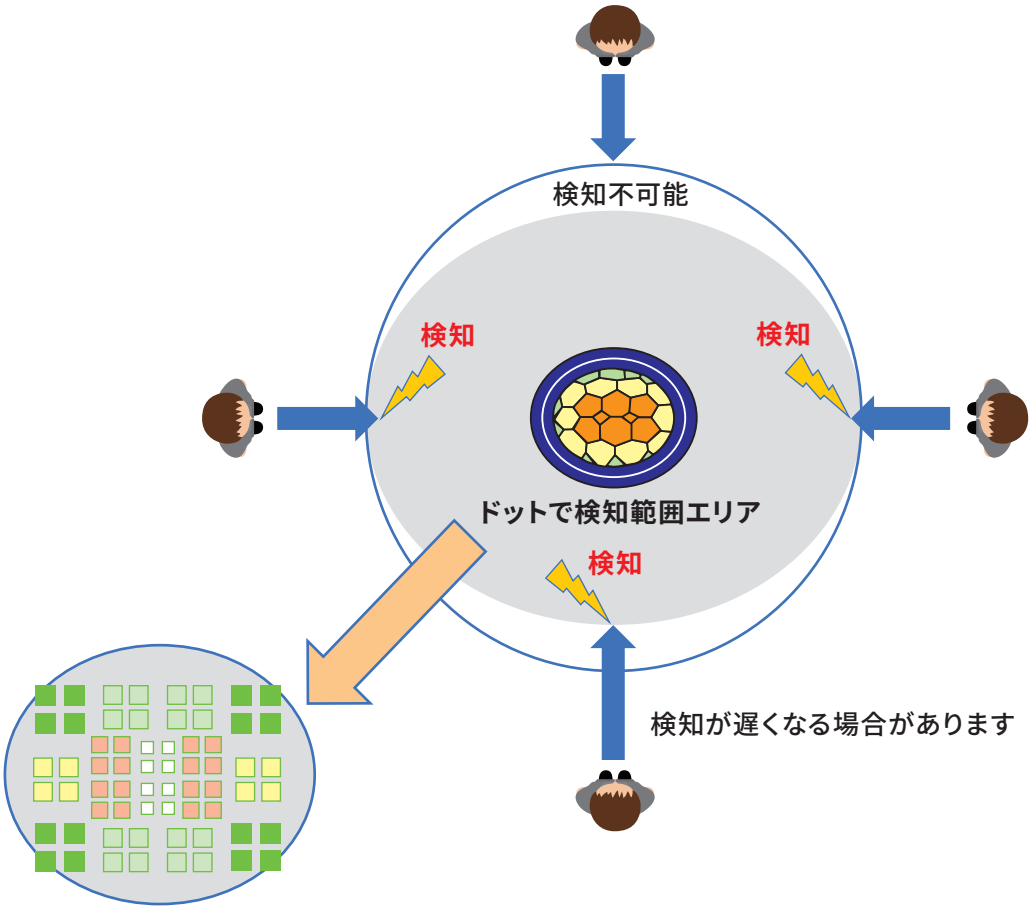
人感センサ検知の仕組み

基本的には有線、無線式センサともに仕組みは同様だが、無線式センサの方がドットの隙間が大きい。

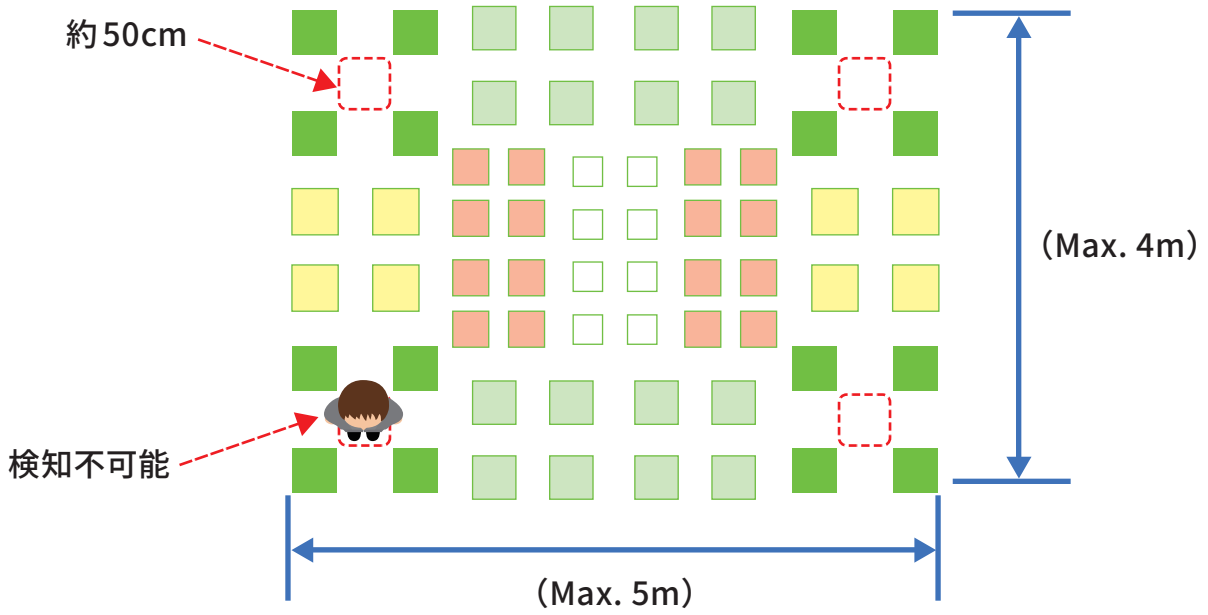


人体温度は周辺温度より高い　＋2℃以上　※センサによっては＋4℃以上

人感センサの検知範囲

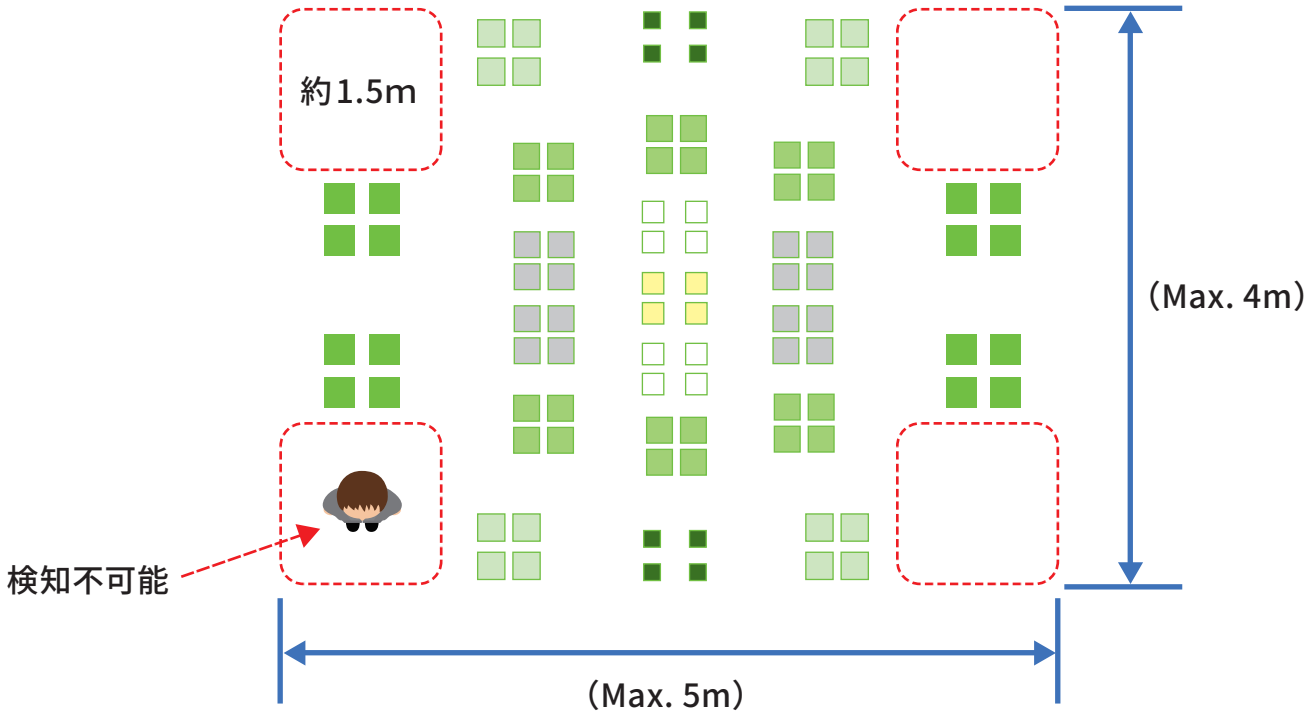


DALIマルチセンサタイプ（有線）での検知範囲イメージ



※センサ範囲のMax値は、センサメーカーおよび種類に応じて異なります。
　また、天井に取り付ける高さに応じてセンサの検知範囲が大きく変わりますのでご注意ください。

無線センサタイプでの検知範囲イメージ



※センサ範囲のMax値は、センサメーカーおよび種類に応じて異なります。
　また、天井に取り付ける高さに応じてセンサの検知範囲が大きく変わりますのでご注意ください。